

本年度の結果

	算数
阿蘇市	67
全国	70.2

領域別	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
阿蘇市	59.2	53.2	74.0	73.2	73.7
全国	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0

観点別	知識・技能	思考力・判断力・表現力等
阿蘇市	72.2	61.1
全国	74.1	65.1

本年度の主な結果について

- 日常生活に必要な時刻や時間を求めること、単位量当たりの大きさの意味及び表し方の理解すること、グラフからデータの特徴や傾向を読み取ることなどは、改善が見られた。
- 数と計算では、数量の関係を捉えて立式すること、小数を用いた倍の意味を理解すること
- 図形を構成する要素などに着目し、面積の求め方について筋道を立てて説明すること
- 既習事項を活用して根拠となる事柄を言葉や式、図など数学的な表現を用いての記述等、活用する力や数学的な考え方に課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 条件に合う時刻を求めることができる(1(4))
- 速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる(1(5))
- 棒グラフから、数量を読み取ることができる(3(1))

【課題】

数と計算

- 商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる(4(2))
- 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる(4(3))

図形

- 三角形の面積の求め方について理解している(2(1))
- 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる(2(3))

測定

- 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる(2(2))

変化と関係

- 速さを求める除法の式と商の意味を理解している(1(3))

データの活用

- 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる(3(4))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「算数の勉強は好き」と回答した割合は年々増加傾向にあり、全国平均を上回っている。
- 「算数は、将来社会に出たときに役に立つ」と回答した児童は、全国平均を上回っている。

【課題】

- 「算数の授業の内容がよく分かりますか」は、年々増えているが、全国平均を下回っている。
- 問題の解き方が分からないとき、他に解く方法はないか考えている。
- 「公式やきまりを習うとき、そのわけを理解している」は改善が見られけが、全国平均を下回っている。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 単元及び1単位時間の構想プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りや適用問題を行う。
- 児童が自ら「問い」を見だし、課題解決の見通しを持たせるとともに、「学習課題」に対する「まとめ」、「めあて」に対する「振り返り」を行う。
- 言葉や式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて根拠をもって筋道立てて考える能力を育て、伝え合ったり説明したりする学び合いの充実を図る。
- 協働的な学びでは、数学的な見方・考え方を働かせながら数学的に考える資質・能力を育成する。

【日常的な取組】

- 児童主体の授業づくりを目指し、数学的活動を通じた活動や効果的なICTの活用を図る。
- 基礎・基本の習熟、補充的・発展的な問題の指導時間を日課表に位置づけて個に応じた指導の充実を図る。

【家庭学習等】

- 授業と連動した家庭学習になるよう、宿題や予習・復習の内容の充実を図る。